

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場  
 所管課 農政部 畜産課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人山梨県子牛育成協会	○	H18.4.1	～	H23.3.31	5年	929,407,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H23.4.1	～	H28.3.31	5年	962,954,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	H28.4.1	～	R3.3.31	5年	976,117,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	R3.4.1	～	R7.3.31	4年	767,553,000

## 2 施設の概要

所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1
設置年月日	昭和43年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場設置及び管理条例
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 (4)牧草の栽培に関する業務 (5)家畜排せつ物のたい肥化に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約583ha ○建物延面積6,202.67㎡ ○建物の構造 RC、鉄骨造 ○建物の概要 ・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250㎡ ・避難舎 鉄骨造 918㎡ ・分娩・衛生舎棟 389.67㎡ ・畜舎 鉄骨造 772.8㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 581㎡ ・家畜排泄物処理施設 鉄骨造 1,811.2㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 1,080㎡ ・飼料庫 400㎡ ・哺育・育成牛舎 鉄骨造 725.44㎡ ・堆肥処理施設 鉄骨造462.56㎡ ○その他施設 ・草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	・令和2年12月3日 哺育・育成牛舎の新設 725.44㎡ 工事費 134,999,700円 ・令和3年3月18日 堆肥処理施設の新設 462.56㎡ 工事費 73,958,500円

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

## 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	250,054,050	236,268,110	239,305,830	246,999,300	270,813,145	
支出合計	230,091,804	224,871,627	226,437,113	239,960,238	263,311,019	
収支差額	19,962,246	11,396,483	12,868,717	7,039,062	7,502,126	

## 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	124,083頭	116,917頭	109,549頭	134,875頭	144,623頭	農家家畜の年間受託延べ頭数
	153頭	154頭	133頭	147頭	146頭	県有牛の供給頭数
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

## 5 運営目標の達成状況(令和4年度)

肉用牛において夏期に入牧希望が殺到したことに加え、冬期預託において新牛舎を繁殖牛用に使用したため、受託頭数は実頭数・延頭数ともに過去最多を更新し、目標頭数(120,000頭)を大幅に上回った。

## 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

飼料をはじめ様々な物価高騰の影響により畜産農家の経営が苦しい中、受託頭数は過去最高を更新し、目標頭数を大きく上回っており、畜産農家の負担軽減を図る公共牧場としての役割は十分に果たしている。また、家畜の受託だけでなく、県有牛の売却や堆肥の販売において利用者から高い満足度を得ていることは、高く評価できる。

さらに、衛生対策の徹底に取り組んできた結果、令和5年3月にヨーネ病清浄化農場に復帰している。引き続き施設内の衛生対策を継続しながら、家畜の受託、県有牛の生産、堆肥生産、人工授精技術のさらなる向上等に努めること。

一方で、飼料や肥料の価格高騰が続くと考えられることから、経費の削減や自給飼料の安定確保に努め、収支状況の改善に努めること。

## 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

飼料や肥料価格の高騰により支出の大幅増加を余儀なくされたが、県から追加委託料をもらう中で、収支において黒字を確保した。今後も価格高騰が継続することが予想されるため、経費節減を一層徹底するとともに、自給飼料の生産向上に努める中で、経営の健全化を図っていきたい。また、施設内の衛生対策を徹底する中で、甲州牛の生産拡大に向け、県有牛の生産や畜産農家のニーズに応じた預託の受け入れなど、当施設が担う役割を着実に果たしていく。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場  
 所管課 農政部 畜産課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

## 1 利用状況 (単位:頭、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	受託頭数(延べ頭数)	124,083	116,917	109,549	134,875	144,623
	利用者数合計	124,083	116,917	109,549	134,875	144,623
	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	実績/目標割合	103.4%	97.4%	91.3%	112.4%	120.5%
	目標値の設定方法	過去5年間の平均受託頭数で設定				
利用率	稼働率等(利用率)	340.0頭	320.3頭	300.1頭	369.5頭	396.2頭
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ受託頭数/営業日数				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	

## 3 補修工事等の状況(令和4年度) (単位:円)

県 深井戸水中ポンプ入替工事	3,960,000
県 分娩牛舎屋根修繕および塗装工事他1件	7,513,000
管 乾草飼料庫扉修繕工事	314,600
管 管理用道路修繕工事	101,750
管 放牧地給水工事他	4,959,377

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和4年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	A 収入額計	250,054,050	236,268,110	239,305,830	246,999,300	270,813,145
	施設利用料	46,996,050	45,086,110	42,592,830	53,384,300	58,936,145
	指定管理委託料	203,058,000	191,182,000	196,713,000	193,615,000	192,404,000
	追加委託料(飼料高騰)					19,473,000
支出	B 支出額計	230,091,804	224,871,627	226,437,113	239,960,238	263,311,019
	人件費	140,381,644	133,082,141	133,392,990	129,390,207	132,826,341
	修繕費	6,465,445	6,147,360	7,193,905	8,554,480	5,375,727
	光熱水費	3,561,946	3,885,791	3,764,812	4,277,964	5,721,347
	消耗品費	11,928,317	13,039,946	12,315,963	16,466,068	15,806,515
	飼料費	20,054,724	20,949,769	19,209,889	31,961,575	38,208,999
	燃料費	3,960,293	3,600,529	2,969,989	4,211,139	5,145,389
	医薬材料費	5,746,382	6,663,525	6,578,611	7,689,442	7,766,388
	原材料費	19,094,605	16,749,199	18,329,204	19,364,462	30,188,334
	工事請負費	800,000	1,777,600	2,299,000	485,100	1,962,400
	保険料	942,500	977,998	908,520	1,024,400	1,156,650
	公課費	570,100	599,000	556,000	657,000	579,800
	消費税	12,009,000	11,918,100	12,916,600	9,741,700	12,951,000
	その他	2,187,110	2,406,397	2,854,775	3,168,334	2,725,102
	その他					
	外部委託費	2,389,738	3,074,272	3,146,855	2,968,367	2,897,027
電気・ガス・水道点検等	2,389,738	3,074,272	3,146,855	2,968,367	2,897,027	
外部委託比率	1.0%	1.4%	1.4%	1.2%	1.1%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	19,962,246	11,396,483	12,868,717	7,039,062	7,502,126	
一頭当たり指定管理者委託料*	1,636.5	1,635.2	1,795.7	1,435.5	1,330.4	

\* 指定管理者委託料÷利用頭数(単位:円)

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 6 利用者満足度

<b>実施方法等</b>	実施時期: 令和5年2月～3月 実施方法: 令和4年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り・郵便) 回答数: 195名			
	<b>満足</b>	<b>どちらかといえば満足</b>	<b>どちらかといえば不満</b>	<b>不満</b>
家畜の受託に対する満足度	100.0%			
県有家畜の売却に対する満足度	90.0%	10.0%		
たい肥の売却に対する満足度	82.7%	13.5%	3.8%	
八ヶ岳牧場の事業に対する満足度	83.7%	16.3%		
<b>施設全般の満足度</b>	<b>89.0%</b>	<b>11.0%</b>		
<b>利用者の主な意見</b>	<p><b>【家畜の受託】</b>                      ・種付けから、運搬までしてもらい助かる。                      ・1頭でも多く受け入れてもらいたい。</p> <p><b>【県有家畜の売却】</b>                      ・妊娠牛の売却があれば希望する。(育成・経産両方)※希望者多数あり。                      ・雌牛の価格が割高である。</p> <p><b>【たい肥の売却】</b>                      ・電話で購入手続きができるので満足。運搬してもらえるので有難い。</p>			
<b>利用者の意見への対応</b>	<p><b>【家畜の受託】</b>                      ・飼料費の高騰などにより入牧希望が増えていることを踏まえ、利用者のニーズに適切に対応していく。</p> <p><b>【県有家畜の売却】</b>                      ・血統や育種価を重視し県有牛の改良を進め、更に優良な子牛の生産に努めていく。家畜改良や飼料管理に関する情報提供や技術の共有を図り、県全域での管理技術の向上を図っていく。</p> <p><b>【たい肥の売却】</b>                      ・堆肥の販売価格を引き下げ、堆肥利用者の拡大促進を図っていく。</p>			

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業務	施設、備品等の適切な保全管理に努めてきた。車輛、農機具の更新を進めているが、経年劣化による故障が効率的な業務執行の妨げになっているので、引き続き計画的に更新していく必要がある。	施設等の老朽化が進む中、適切な保全管理を行っている。引き続き、定期的な点検等により適切な管理に努めること。老朽施設、備品等の更新などについて今後検討していきたい。 また、災害対応について職員意識の一層の向上に努め、利用家畜の安全確保を図ること。
運営業務	県内飼養戸数・頭数の減少傾向の中で、預託した家畜のほとんどが、人工受精卵技術で受胎させてもらえることが評価され利用者の多くはリピーターとなっている。家畜伝染病まん延防止対策を強化し衛生管理と検査の徹底を図る。	受託頭数は目標を達成しており、受託家畜への人工受精受胎率がかなり高いことは大変評価できる。引き続き預託農家の要望に添った人工受精を行い、利用頭数の確保に努めること。
利用状況	売却頭数は、令和元年度にヨーネ病が確認され患畜の処分や同居牛の自主淘汰の影響により減少していたが、令和3年度には増加し令和4年度は146頭で前年度とほぼ同数であった。農家等が保有する乳用牛、肉用牛の牧場利用頭数は実頭数・延頭数とも過去最多となった。特に肉用牛においては夏期に入牧希望が殺到したことに加え、冬期預託において新牛舎を繁殖牛用に使用したため延頭数は前年対比107%となった。	県有牛売却頭数は、前年並みとなっている。ヨーネ病摘発以来、衛生対策に取り組んだ結果、令和5年3月に清浄化農場に復帰した。引き続き衛生対策の徹底に努めること。 利用頭数は昨年をさらに上回り過去最多となっており、預託希望農家の要望に応えられていることは評価できる。引き続き安定した利用頭数の確保に努めること。
収支状況	牧場利用頭数が増加したことにより利用料収入は増加したが、冬期貯蔵飼料の生産量が足りず、不足分を購入粗飼料に依存せざるを得なかったことや、配合飼料、肥料等の高騰により経費が大幅に増加したため、2期連続で赤字となった。	利用頭数の増加により、利用料収入は増加しているが、飼料および肥料価格の高騰により、収支差額は昨年度と同程度であった。 物価の高騰が続いており厳しい状況が続くと考えられるが、今後も経費削減や自給飼料の安定確保に務め、収支状況の改善に取り組むこと。
自主事業		
利用者満足度	たい肥の売却以外は、利用者の全てが「満足」、「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。	利用者のほとんどから高い満足度が得られていることは、高く評価できる。 引き続き、利用者満足度の維持向上に努めること。

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
家畜の改良 増殖に関する 業務	農家から預託された家畜のほとんどを人工授精または受精卵移植により受胎させることができおり、大変評価できる。	引き続き、人工授精技術並びに受精卵移植技術のさらなる向上に努め、農家の満足度向上を図ること。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 9 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

